

【具体的成果等】

具体的成果等 1 から 5
まで、できる限り入力
する。

1. 宇宙開発利用の新たな領域創造への貢献

従来の発想にとらわれない、世界に先駆けた革新的なアイデアや新たな分野への取り組みなど、宇宙開発利用の手法・分野の拡大につながる事例であり、今後の成果が期待できる挑戦であること。(500 字以内)

- ・ 日本で初めて、宇宙開発の技術を x x の業界に利用。
- 年に事業化
- 事業予測：令和○○年に
- ・ ファンドの獲得：x x 社より x x 円の投資あり
- その他

事業の新規性、事業化に向けた実現性、事業化に向けたスケジュール。
エビデンスとなる定量的な情報を盛り込むこと。
500 字以内。

2. 宇宙開発利用市場の拡大への貢献

契約件数、売上実績等が拡大していること、または、今後の契約件数等の伸びや海外展開によるグローバル市場への進出が期待できること。(500 字以内)

- (株) が衛星を使った「○」サービスの提供を x x 年から開始。
- 全世界の x x 関連企業およそ x x 社に納入。
- 売り上げ実績：令和 5 年度 x x 件・x x 円、令和 6 年度 x x 件・x x 円、令和 7 年度 x x 件・x x 円。
- 国内市場占有率：x x % (市場占有率の算出基礎は、x x に基づく x x)
- ライセンス提供先およそ x x 社
- その他

市場に投入された製品・サービス等の評価や技術に対する市場の評価、事業の継続性を詳細に記載。
エビデンスとなる定量的な情報を盛り込むこと。
500 字以内。

3. 経済・社会の高度化への貢献

宇宙開発利用によって産業、社会、生活、行政の高度化や課題解決に優れた貢献をしていること、または、期待できること。(500字以内)

- 国民が広く利用しているxxに関して、今や不可欠なサービス。
- これまでxxであったものを本サービスの浸透によりxxに向上。
- 利用者数xx人(算出根拠はxxによる)
- 第xx回xx賞を受賞
- 新聞やメディアでの報道事例
- その他

当該製品やサービスによって、国民生活や行政サービスがどのように高度化・効率化できたのかを詳細に記載。
エビデンスとなる定量的な情報を盛り込むこと。
500字以内。

4. 技術への貢献

宇宙開発利用に貢献している、または貢献が期待できる優れた研究開発を行っていること。(500字以内)

- xx年に世界で初めてxx技術を確立し、実用化。
- 製品化やサービス化する時期やその際の想定売上や市場占有率。
- 特許：主要なもの(成立(国内、海外)、出願(国内、海外))の特許名及びパテント番号
- 査読付き論文等：主要なものタイトルや掲載誌情報
- その他、新規性や革新性を示す情報。

開発された技術内容の革新性(従来技術の問題点・不可能だったことを本技術でどのように変わったかなど)、その波及効果を記載。
エビデンスとなる定量的な情報を盛り込むこと。
500字以内。

5. 国民理解の増進・人材育成への貢献

宇宙開発利用の意義及び成果の価値と重要性について、国民からの幅広い理解や支持を得るために優れた貢献をしていること。または、広く国民、特に子供たちに夢と希望を与え、次世代を担う人材育成に優れた貢献をしていること。(500字以内)

- xxに関連するイベントの開催実績（令和5年度xx回・参加者xx人、令和6年度xx回・参加者xx人）。
- xxに関する教育プログラムの開催実績（参加児童、生徒、学生数）
- xxに対するxxからの表彰（令和xx年度）
- 新聞やメディアでの報道事例
- 波及効果や認知度の広がりを示す実績など

宇宙の開発利用に関する教育・活動や広報等の観点でどのような貢献を行ったかを記載。エビデンスとなる定量的な情報を盛り込むこと。
500字以内。

【受賞候補者の説明】

xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx

事例に係る企業、大学研究室、技術研究組合、研究グループ、個人のプロフィール。